

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学

## (2) 大学名

山陽小野田市立山口東京理科大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒756-0884

山口県山陽小野田市大学通一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イケキタ マサヒコ) 池北 雅彦 (平成29年4月3日)		
学長	(モリタ ヒロシ) 森田 廣 (平成28年4月1日)	(モチヅキ マサタカ) 望月 正隆 (令和2年4月1日)	任期満了に伴う変更 令和2年4月1日 (2)
学部長	(タケダ ケン) 武田 健 (平成30年4月1日)		
学科長等	(マツナガ ヒロフミ) 松永 浩文 (平成30年4月1日)	(タナカ ヒロユキ) 田中 宏幸 (令和2年4月1日)	任期満了に伴う変更 令和2年4月1日 (2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
薬学部 薬学科 学士（薬学）	薬学関係	6年	120人	年次人	720人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	120人 ( ) [ ]	( ) [ ]	120人 ( ) [ ]	( ) [ ]	120人 ( ) [ ]	( ) [ ]	120人 ( ) [ ]	( ) [ ]	1.05倍	倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	1448 ( ) [ ]	( ) [ ]	1103 ( ) [ ]	( ) [ ]	1143 ( ) [ ]	( ) [ ]	906 ( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	1123 ( ) [ ]	( ) [ ]	764 ( ) [ ]	( ) [ ]	665 ( ) [ ]	( ) [ ]	906 ( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	193 ( ) [ ]	( ) [ ]	240 ( ) [ ]	( ) [ ]	205 ( ) [ ]	( ) [ ]	248 ( ) [ ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	119 ( ) [ ]	( ) [ ]	145 ( ) [ ]	( ) [ ]	121 ( ) [ ]	( ) [ ]	120 ( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A			0.99		1.2		1		1				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	119 ( - )	- ( - )	148 (3)	- ( - )	124 (3)	- ( - )	125 (6)	- ( - )	
2 年次	/		- ( - )	- ( - )	113 ( - )	- ( - )	147 (6)	- ( - )	118 (8)	- ( - )	
3 年次			/		/		- ( - )	- ( - )	107 (0)	- ( - )	140 (5)
4 年次	/						/		/		- ( - )
計			[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	119 ( - )	[ - ] ( - )					261 (3)

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	119 人	3 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	3 人	0 人	
令和元年度	261 人	4 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	3 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	
令和2年度	378 人	10 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	2 人	0 人	進路変更(1人)、他の教育機関への入学(1人)
			令和元年度	3 人	0 人	進路変更(1人)、他の教育機関への入学(1人)、 就学意欲の低下(1人)
			令和2年度	5 人	0 人	経済事情(2人)、他の教育機関への入学(2人)、 進路変更(1人)
令和3年度	487 人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		17 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{119} = \boxed{2.52} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{261} = \boxed{1.53} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{10}{378} = \boxed{2.64} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{487} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。





卒業要件及び履修方法

外国語のうち、必修科目から5単位、選択科目から4単位、人間科学分野のうち、必修科目から2単位、選択科目から4単位、基幹基礎科目のうち、必修科目から6単位、専門基礎科目のうち、必修科目から2単位を修得する。専門科目のうち必修科目から168単位、選択科目から4単位、卒業研究から6単位を修得する。さらに全学選択科目として4単位を修得し、合計205単位を修得する。

(履修科目の登録の上限：44単位(年間))

卒業要件及び履修方法

外国語のうち、必修科目から5単位、選択科目から4単位、人間科学分野のうち、必修科目から2単位、選択科目から4単位、基幹基礎科目のうち、必修科目から6単位、専門基礎科目のうち、必修科目から2単位を修得する。専門科目のうち必修科目から168単位、選択科目から4単位、卒業研究から6単位を修得する。さらに全学選択科目として4単位を修得し、合計205単位を修得する。

(履修科目の登録の上限：44単位(年間))







外国語のうち、必修科目から5単位、選択科目から4単位、人間科学分野のうち、必修科目から2単位、選択科目から4単位、基幹基礎科目のうち、必修科目から6単位、専門基礎科目のうち、必修科目から2単位を修得する。専門科目のうち必修科目から168単位、選択科目から4単位、卒業研究から6単位を修得する。さらに全学選択科目として4単位を修得し、合計205単位を修得する。  
(履修科目の登録の上限：44単位 (年間))

外国語のうち、必修科目から5単位、選択科目から4単位、人間科学分野のうち、必修科目から2単位、選択科目から4単位、基幹基礎科目のうち、必修科目から6単位、専門基礎科目のうち、必修科目から2単位を修得する。専門科目のうち必修科目から168単位、選択科目から4単位、卒業研究から6単位を修得する。さらに全学選択科目として4単位を修得し、合計205単位を修得する。  
(履修科目の登録の上限：44単位 (年間))

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目 (外国語)	Freshman English	1前	2			1		1				1
	Integrated Skills in English A	1後	1			1		1				1
	Integrated Skills in English B	2前	1			1		1				1
	Integrated Skills in English C	2後	1			1		1				1
	Reading and Writing Skills A	1・2・3・4・5・6前		1		1		1				
	Reading and Writing Skills B	1・2・3・4・5・6後		1		1		1				
	Listening and Speaking Skills A	1・2・3・4・5・6前		1		1		1				
	Listening and Speaking Skills B	1・2・3・4・5・6後		1		1		1				
	ドイツ語1	1・2・3・4・5・6前		1								1
	ドイツ語2	1・2・3・4・5・6後		1								1
小計(10科目)	-	5	6	0	8	0	8	0	0	0	6	
一般科目 (人間科学分野)	学術と地域文化1	1・2・3・4・5・6前	2			2						
	学術と地域文化2	1・2・3・4・5・6後	2			2						
	哲学	1・2・3・4前	2									1
	論理学	1・2・3・4後	2									1
	経済学	1・2・3・4前	2									1
	法学	1・2・3・4後	2									1
	心理学	1・2・3・4前	2									1
	社会学	1・2・3・4後	2									1
	国際事情	1・2・3・4後	2									1
	リーダーシップ論	1・2・3・4・5・6後	2									3
	健康スポーツ1	1通	2					1				
	健康スポーツ2	2・3・4・5・6通	2					1				
小計(12科目)	-	2	22	0	4	0	2	0	0	0	10	
礎科目 (基幹基礎)	基礎生物学	1前		1		2			1			
	基礎数理学	1前		1				1				
	基礎化学	1前	2			1		1				
	入門統計推計学	1前	2				1					
	入門情報リテラシー	1前		2				1				
	情報リテラシー	1後	2			1		1				
小計(6科目)	-	6	4	0	5	1	4	2	0	0		
基幹科目 (基幹)	科学英語A	3後	1			2		1				
	科学英語B	4前	1			2		1				
	小計(2科目)	-	2	0	0	4	0	2	0	0	0	
専門科目	基礎物理化学	1前	2			2			1			
	生化学1	1前	2			1	1					
	薬学概論	1前	2			2						
	ヒューマンコミュニケーション1演習	1前	1			2		1		4	1	
	早期体験学習	1前	1			2	1	3		3		
	無機化学	1前	2			3	1	2	2			
	有機化学1	1後	2			1						
	有機化学1演習	1後	1			2				2		
	生化学2	1後	2			1		1				
	分析科学	1後	2			1	1	1				
	物理化学	1後	2			1						
	ヒューマンコミュニケーション2演習	1後	1			2		1		4		
	機能形態学1	1後	2			1						
	薬学倫理	1通	4			3				1		
	生薬学1	2前	2			1						
	生命物理化学	2前	2			1			1			
	有機化学2	2前	2			1						
	有機化学2演習	2前	1			2				2		
	微生物学	2前	2				1					
	臨床分析科学	2前	2				1					
	生化学3	2前	2			1						
	健康と栄養	2前	2				1					
	機能形態学2	2前	2			1			1			
小計(23科目)	-	43	0	0	31	7	9	5	16	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	生物系実習	2後	1			3	2	2	1	1	
	薬剤学1	2前	2					1	1		
	生薬学実習	2後	1			1			1	1	
	免疫学	2前	2			1		1			
	生薬学2	2後	2			1					
	物理・分析科学実習	2前	1			3	1	1	1	1	
	有機化学3	2後	2			1					
	有機化学3演習	2後	1			2				2	
	スペクトル解析	2後	2			1		1			
	有機スペクトル解析	2後	2			1		1			
	有機スペクトル解析実習	2後	1			1		1		2	
	生物有機化学	2後	2					1	1		
	薬剤学2	2後	2			1		1			
	環境と健康1	2後	2			1	1				
	有機化学実習	2前	1			2		2	1	3	
	有機合成化学	2後	2			1			1		
	薬理学1	2後	2			1					
	分子細胞生物学	3前	2				1	1			
	生物統計学	3前	2				1		1		
	バイオ・ケモインフォマティクス	3前		2		2		1			
	薬理学2	3前	2				1				
	疾病と病態	3前	2			1					
	環境と健康2	3前	2				1		1		
	薬理学実習	3前	1			2	2	1		1	
	医薬化学	3前	2			1					
	再生医療学	3前	2			1					
	製剤学1	3前	2			1					
	薬物治療学	3前	2			2	1				
	薬剤学実習	3前	1			1		1	2	1	
	衛生薬学実習	3前	1				1		1	1	
	創薬化学	3前		2		1			1		
	レギュラトリーサイエンス	3後	2			1					
	薬剤師論	3後	2			2					
	放射医科学(未開講)	3後		1			1				1
	臨床統計学	3後	2				2			1	
	医療人入門	3後	2			2					
	バイオ医薬品	3後	2			1		2			
	インシリコ創薬	3後		2		1		1			
	総合医療薬学1	3後	2			4	2	1	1		
	総合医療薬学2	3後	2			4	1	2	1		
	総合医療薬学3	3後	2			4	1	1	1		
	総合医療薬学4	3後	2			4		1	1		
	製剤学2	3後	2					1			
	疾病の予防	3後	2			1			2		
	山口県地域医療学1	3後	2			2		1			
	医療安全学1	3後	2			1					
	山口県地域医療学2	4前	2			1	1	1			
	医薬品情報学	4前	2			1					
	医療経済学	4前	2			2					
	薬事法規・社会薬学	4前	2			1					
	漢方概論	4前	2			1		1	1		
	健康ビッグデータ解析学	4前	2				1				
	総合医療薬学5	4前	2			5	1	1			
	総合医療薬学6	4前	2			3	2	1			
	総合医療薬学7	4前	2			3	3	2			
	医療安全学2	4前	2			2					
	患者情報学	4前	2			2					
	薬学臨床事前実習	4後	5			7	3	3			
	病院薬局実務実習	5通	20			2	1	1			
	薬学基礎総論	4後	1			9					
	薬剤師業務総論	6後	2			9					
小計(61科目)	—	125	7	0	109	31	36	20	14	1	
卒業科目	卒業研究1	4通	2			21	11	6			
	卒業研究2	5通	2			21	11	6			
	卒業研究3	6通	2			21	11	6			
	小計(3科目)	—	6	0	0	63	33	18	0	0	0
合計(117科目)	—	189	39	0	224	72	79	27	30	18	

卒業要件及び履修方法

外国語のうち、必修科目から5単位、選択科目から4単位、人間科学分野のうち、必修科目から2単位、選択科目から4単位、基幹基礎科目のうち、必修科目から6単位、専門基礎科目のうち、必修科目から2単位を修得する。専門科目のうち必修科目から168単位、選択科目から4単位、卒業研究から6単位を修得する。さらに全学選択科目として4単位を修得し、合計205単位を修得する。

(履修科目の登録の上限：44単位(年間))

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当教員体調不良の理由により、「入門統計推計学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・職位変更の理由により、「基礎数理学」の専任教員配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・職位変更の理由により、「基礎化学」の専任教員配置を「教授1」「准教授1」「助教1」を「教授1」「講師1」「助教1」に変更。
- ・職位変更の理由により、「無機化学」の専任教員配置を「教授3」「准教授3」「講師1」「助教1」を「教授3」「准教授1」「講師3」「助教1」に変更。
- ・職位変更の理由により、「有機化学実習」の専任教員配置を「教授2」「准教授2」「助教1」を「教授2」「講師2」「助教1」に変更。
- ・職位変更の理由により、「有機スペクトル解析」の専任教員配置を「教授1」「准教授1」を「教授1」「講師1」に変更。

【令和元年度】

- ・所属学部の都合により、「論理学」の「1・2・3・4後」を「1・2・3・4前」に変更
- ・所属学部の都合により、「国際事情」の「1・2・3・4前」を「1・2・3・4後」に変更
- ・所属学部の都合により、「入門統計推計学」の「1後」を「1前」に変更
- ・所属学部の都合により、「生物系実習」の「2前」を「2後」に変更
- ・所属学部の都合により、「生薬学実習」の「2前」を「2後」に変更
- ・所属学部の都合により、「物理・分析科学実習」の「2後」を「2前」に変更
- ・所属学部の都合により、「有機化学実習」の「2後」を「2前」に変更

【令和2年度】

- ・辞退による欠員改善の理由により、「基礎物理化学」の専任教員配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・退職による後任採用に伴い、「無機化学」の専任教員配置を「講師3」から「講師2」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・退職による後任採用に伴い、「分析科学」の専任教員配置を「講師1」から「助教1」に変更。
- ・退職による後任採用に伴い、「物理・分析科学実習」の専任教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・退職による後任採用に伴い、「スペクトル解析」の専任教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・退職による後任採用に伴い、「総合医療薬学1」の専任教員配置を「准教授3」から「准教授2」「助教1」に変更。
- ・退職による後任採用に伴い、「総合医療薬学2」の専任教員配置を「准教授2」から「准教授1」「助教1」に変更。
- ・退職による後任採用に伴い、「総合医療薬学3」の専任教員配置を「准教授2」から「准教授1」「助教1」に変更。
- ・退職による後任採用に伴う、「総合医療薬学4」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授0」「助教1」に変更。

【令和3年度】

- ・退職に伴い、「基礎物理化学」の専任教員配置を「教授2」、「助教1」から「教授1」、「助教1」に変更。
- ・退職に伴い、「物理・分析科学実習」の専任教員配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・退職に伴い、「薬剤学実習」の専任教員配置を「教授1」「講師1」「助教2」から「教授1」「講師1」「助教1」に変更。
- ・退職に伴い、「漢方概論」の専任教員配置を「教授1」「講師1」「助教1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・退職による後任採用に伴う、「総合医療薬学5」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授0」「助教1」に変更。
- ・退職による後任採用に伴う、「総合医療薬学7」の専任教員配置を「准教授3」から「准教授2」「助教1」に変更。
- ・退職に伴い、「バイオ・ケモインフォマティクス」の専任教員配置を「教授2」、「講師1」を「教授1」、「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
189 科目	39 科目	0 科目	228 科目	189 科目 [ ]	39 科目 [ ]	0 科目 [ ]	228 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{228} = \boxed{\phantom{0}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	58,880.22 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	58,880.22 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	18,424.75 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	18,424.75 m <sup>2</sup>			
	小 計	77,304.97 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	77,304.97 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	27260.63 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	27260.63 m <sup>2</sup>			
	合 計	104,565.60 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	104,565.60 m <sup>2</sup>			
(2) 校舎	専 用	39,439.68 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	39,439.68 m <sup>2</sup>			
	( 39,439.68 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 39,439.68 m <sup>2</sup> )			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	24 室	12 室	81 室	2 室 (補助職員15人)	1 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	薬学部 薬学科			78 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書冊数には電子書籍・製本雑誌の数を含む。電子ジャーナルのうち、パッケージで購入しているものは、収録タイトル数を計上。  大学での共用分 図書 46,485〔11,744〕冊 図書 43,254〔11,650〕冊 学術雑誌 663〔605〕種 学術雑誌 598〔540〕種 (3)  学術雑誌：メディカルオンラインを収録タイトル数で計上していなかったため増加(3)
		薬学部薬学科						
	計							
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			
	1,099.37m <sup>2</sup>		248席		72,055冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,400.00 m <sup>2</sup>		テニスコート 3 面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	896千円	881千円	図書購入費	46,603千円	31,047千円	42,641千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	903,371千円	979,339千円	50,000千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		817.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、寄付金収入、資産運用収入により維持運営する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 3 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	山陽小野田市立山口東京理科大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍			
薬学部	6	120	-	720	学士 (薬学)	1.05	0.99			
薬学科	6	120	-	720	学士 (薬学)	1.05	0.99		平成30年度	山口県山陽小野田市大学通1-1-1
工学部	4	200	-	800	学士 (工学)	1.07	1.07			
機械工学科	4	60	-	240	学士 (工学)	1.09	1.07		平成21年度	山口県山陽小野田市大学通1-1-1
電気工学科	4	60	-	240	学士 (工学)	1.10	1.18		平成21年度	同上
応用化学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.03	0.99		平成7年度	同上
工学研究科	-	18	-	39	-	0.71	0.50			
工学専攻 博士前期課程	2	15	-	30	修士 (理学又は工学)	1.20	1.40		平成11年度	同上
工学専攻 博士後期課程	3	3	-	9	博士 (理学又は工学)	0.22	0.67		平成15年度	同上
大学全体	-	338	-	1559	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
	担当授業科目名							
専 教授	基礎生物学 ※ 生物系実習 ※ 免疫学 ※ バイオ医薬品 ※ 総合医療薬学2 ※ 薬学基礎総論 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	篠原 久明 (47) <平成30年4月> 博士(医学)	篠原 久明 (48) <平成30年4月> 博士(医学)	篠原 久明 (49) <平成30年4月> 博士(医学)	篠原 久明 (50) <平成30年4月> 博士(医学)	篠原 久明 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	篠原 久明 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	
専 教授	基礎生物学 ※ 機能形態学1 機能形態学2 生物系実習 ※ 再生医療学 ※ 薬学基礎総論 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	嶋本 顕 (51) <平成30年4月> 博士(理学)	嶋本 顕 (52) <平成30年4月> 博士(理学)	嶋本 顕 (53) <平成30年4月> 博士(理学)	嶋本 顕 (54) <平成30年4月> 博士(理学)	嶋本 顕 (55) <平成30年4月> 博士(理学)	嶋本 顕 (55) <平成30年4月> 博士(理学)	
専 教授	レギュラトリーサイエンス 薬事法規・社会薬学 医療経済学 薬剤師業務総論 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	下川 昌文 (51) <平成30年4月> 博士(薬科学)	下川 昌文 (52) <平成32年4月> 博士(薬科学)	下川 昌文 (53) <平成32年4月> 博士(薬科学)	下川 昌文 (54) <平成32年4月> 博士(薬科学)	下川 昌文 (55) <平成32年4月> 博士(薬科学)	下川 昌文 (55) <平成32年4月> 博士(薬科学)	
専 教授	生薬学1 生薬学実習 生薬学2 漢方概論 薬学基礎総論 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	田中 宏幸 (50) <平成31年4月> 博士(薬学)	田中 宏幸 (51) <平成31年4月> 博士(薬学)	田中 宏幸 (52) <平成31年4月> 博士(薬学)	田中 宏幸 (53) <平成31年4月> 博士(薬学)	田中 宏幸 (54) <平成31年4月> 博士(薬学)	田中 宏幸 (54) <平成31年4月> 博士(薬学)	
専 教授	Freshman English Integrated Skills in English A Integrated Skills in English B Integrated Skills in English C Reading and Writing Skills A Reading and Writing Skills B Listening and Speaking Skills A Listening and Speaking Skills B 科学英語A 科学英語B	堤 千佳子 (52) <平成30年4月> 文学修士	堤 千佳子 (53) <平成30年4月> 文学修士	堤 千佳子 (54) <平成30年4月> 文学修士	堤 千佳子 (55) <平成30年4月> 文学修士	堤 千佳子 (56) <平成30年4月> 文学修士	堤 千佳子 (56) <平成30年4月> 文学修士	
専 教授	基礎物理化学 ※ 無機化学 ※ 生命物理化学 ※ 物理・分析科学実習 バイオ・ケモインフォマティクス 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	広井(藤原) 賀子 (43) <平成30年4月> 博士(医学)	広井(藤原) 賀子 (44) <平成30年4月> 博士(医学)	広井(藤原) 賀子 (45) <平成30年4月> 博士(医学)	広井(藤原) 賀子 (46) <平成30年4月> 博士(医学)	広井(藤原) 賀子 (48) <平成30年4月> 博士(医学)	広井(藤原) 賀子 (48) <平成30年4月> 博士(医学)	
専 教授	薬理学実習 ※ 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学2 ※ 総合医療薬学3 ※ 総合医療薬学4 ※ 総合医療薬学5 ※ 薬学臨床事前実習 ※ 薬剤師業務総論 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	細井 徹 (45) <平成32年4月> 博士(薬学)	細井 徹 (46) <平成32年4月> 博士(薬学)	細井 徹 (47) <平成32年4月> 博士(薬学)	細井 徹 (48) <平成32年4月> 博士(薬学)	細井 徹 (49) <平成32年4月> 博士(薬学)	細井 徹 (49) <平成32年4月> 博士(薬学)	細井 徹 (49) <平成32年4月> 博士(薬学)
専 教授	学術と地域文化1 学術と地域文化2 薬学概論 ヒューマンコミュニケーション1演習 ※ 早期体験学習 ※ 有機化学1演習 ※ 薬学倫理 ※ 有機化学2演習 ※ 有機化学3演習 ※ 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	西本 新 (48) <令和3年4月> 博士(生命科学)						



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	川上 広宣 (42) <平成31年4月> 博士(薬学)	微生物学 生物系実習 ※ 総合医療薬学6 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	准教授	川上 広宣 (43) <平成31年4月> 博士(薬学)	微生物学 生物系実習 ※ 総合医療薬学6 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	准教授	川上 広宣 (44) <平成31年4月> 博士(薬学)	微生物学 生物系実習 ※ 総合医療薬学6 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	准教授	渋谷 典広 (44) <平成31年4月> 博士(薬学)	薬理学2 薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学6 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	准教授	渋谷 典広 (45) <平成31年4月> 博士(薬学)	薬理学2 薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学6 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	准教授	渋谷 典広 (46) <平成31年4月> 博士(薬学)	薬理学2 薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学6 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	准教授	清水 孝洋 (40) <平成32年4月> 博士(医学)	薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学2 ※ 総合医療薬学3 ※ 総合医療薬学4 ※ 総合医療薬学5 ※ 総合医療薬学7 ※ 薬学臨床事前実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	准教授	清水 孝洋 (41) <平成32年4月> 博士(医学)	薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学2 ※ 総合医療薬学3 ※ 総合医療薬学4 ※ 総合医療薬学5 ※ 総合医療薬学7 ※ 薬学臨床事前実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	准教授	清水 孝洋 (42) <平成32年4月> 博士(医学)	薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学2 ※ 総合医療薬学3 ※ 総合医療薬学4 ※ 総合医療薬学5 ※ 総合医療薬学7 ※ 薬学臨床事前実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	准教授	立花 研 (39) <平成30年4月> 博士(薬学)	早期体験学習 健康と栄養 環境と健康1 環境と健康2 衛生薬学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	准教授	立花 研 (40) <平成30年4月> 博士(薬学)	早期体験学習 健康と栄養 環境と健康1 環境と健康2 衛生薬学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	准教授	立花 研 (41) <平成30年4月> 博士(薬学)	早期体験学習 健康と栄養 環境と健康1 環境と健康2 衛生薬学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	准教授	武藤 純平 (40) <平成30年4月> 博士(薬学)	無機化学 ※ 分析科学 ※ 臨床分析科学 物理・分析科学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	准教授	武藤 純平 (41) <平成30年4月> 博士(薬学)	無機化学 ※ 分析科学 ※ 臨床分析科学 物理・分析科学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	准教授	武藤 純平 (42) <平成30年4月> 博士(薬学)	無機化学 ※ 分析科学 ※ 臨床分析科学 物理・分析科学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	講師	大庭 尚子 (34) <平成30年4月> 修士(人文科学) ※	健康スポーツ1 健康スポーツ2	専	講師	大庭 尚子 (35) <平成30年4月> 修士(人文科学) ※	健康スポーツ1 健康スポーツ2	専	講師	大庭 尚子 (36) <平成30年4月> 修士(人文科学) ※	健康スポーツ1 健康スポーツ2
専	講師	沖田 直之 (37) <平成30年4月> 博士(薬学)	早期体験学習 生化学2 ※ 生物系実習 ※ 分子細胞生物学 ※ バイオ医薬品 ※ 総合医療薬学7 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	沖田 直之 (38) <平成30年4月> 博士(薬学)	早期体験学習 生化学2 ※ 生物系実習 ※ 分子細胞生物学 ※ バイオ医薬品 ※ 総合医療薬学7 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	沖田 直之 (39) <平成30年4月> 博士(薬学)	早期体験学習 生化学2 ※ 生物系実習 ※ 分子細胞生物学 ※ バイオ医薬品 ※ 総合医療薬学7 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	講師	木田 悟史 (32) <平成30年4月> 博士(学術)	Freshman English Integrated Skills in English A Integrated Skills in English B Integrated Skills in English C Reading and Writing Skills A Reading and Writing Skills B Listening and Speaking Skills A Listening and Speaking Skills B 科学英語A	専	講師	木田 悟史 (33) <平成30年4月> 博士(学術)	Freshman English Integrated Skills in English A Integrated Skills in English B Integrated Skills in English C Reading and Writing Skills A Reading and Writing Skills B Listening and Speaking Skills A Listening and Speaking Skills B 科学英語A	専	講師	木田 悟史 (34) <平成30年4月> 博士(学術)	Freshman English Integrated Skills in English A Integrated Skills in English B Integrated Skills in English C Reading and Writing Skills A Reading and Writing Skills B Listening and Speaking Skills A Listening and Speaking Skills B 科学英語A
専	講師	前田(坂井) 久美子 (34) <平成30年4月> 博士(医学)	ヒューマンコミュニケーション1 演習 ※ 早期体験学習 ヒューマンコミュニケーション2 演習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	前田(坂井) 久美子 (35) <平成30年4月> 博士(医学)	ヒューマンコミュニケーション1 演習 ※ 早期体験学習 ヒューマンコミュニケーション2 演習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	前田(坂井) 久美子 (36) <平成30年4月> 博士(医学)	ヒューマンコミュニケーション1 演習 ※ 早期体験学習 ヒューマンコミュニケーション2 演習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専	講師	田村 雅史 (48) <平成30年4月> 博士(薬学)	基礎化学 無機化学 ※ 有機スベクトル解析 有機スベクトル解析実習 生物有機化学 有機化学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	田村 雅史 (49) <平成30年4月> 博士(薬学)	基礎化学 無機化学 ※ 有機スベクトル解析 有機スベクトル解析実習 生物有機化学 有機化学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	田村 雅史 (50) <平成30年4月> 博士(薬学)	基礎化学 無機化学 ※ 有機スベクトル解析 有機スベクトル解析実習 生物有機化学 有機化学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	田村 雅史 (51) <平成30年4月> 博士(薬学)	基礎化学 無機化学 ※ 有機スベクトル解析 有機スベクトル解析実習 生物有機化学 有機化学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	田村 雅史 (52) <平成30年4月> 博士(薬学)	基礎化学 無機化学 ※ 有機スベクトル解析 有機スベクトル解析実習 生物有機化学 有機化学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	講師	中川 直 (39) <平成32年4月> 博士(医学)	薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学2 ※ 総合医療薬学3 総合医療薬学4 総合医療薬学5 総合医療薬学6 総合医療薬学7 薬学臨床事前実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	中川 直 (40) <平成32年4月> 博士(医学)	薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学2 ※ 総合医療薬学3 総合医療薬学4 総合医療薬学5 総合医療薬学6 総合医療薬学7 薬学臨床事前実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	中川 直 (41) <平成32年4月> 博士(医学)	薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学2 ※ 総合医療薬学3 総合医療薬学4 総合医療薬学5 総合医療薬学6 総合医療薬学7 薬学臨床事前実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	中川 直 (42) <平成32年4月> 博士(医学)	薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学2 ※ 総合医療薬学3 総合医療薬学4 総合医療薬学5 総合医療薬学6 総合医療薬学7 薬学臨床事前実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	中川 直 (43) <平成32年4月> 博士(医学)	薬理学実習 総合医療薬学1 ※ 総合医療薬学2 ※ 総合医療薬学3 総合医療薬学4 総合医療薬学5 総合医療薬学6 総合医療薬学7 薬学臨床事前実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	講師	中村 心一 (37) <平成30年4月> 博士(臨床薬学)	無機化学 ※ 分析科学 ※ 物理・分析科学実習 スベクトル解析	専	講師	中村 心一 (38) <平成30年4月> 博士(臨床薬学)	無機化学 ※ 分析科学 ※ 物理・分析科学実習 スベクトル解析												
専	講師	島山 允 (32) <平成30年4月> 博士(工学)	入門情報リテラシー 情報リテラシー バイオ・ケモインフォマティクス インシリコ創薬 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	島山 允 (33) <平成30年4月> 博士(工学)	入門情報リテラシー 情報リテラシー バイオ・ケモインフォマティクス インシリコ創薬 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	島山 允 (34) <平成30年4月> 博士(工学)	入門情報リテラシー 情報リテラシー バイオ・ケモインフォマティクス インシリコ創薬 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	島山 允 (35) <平成30年4月> 博士(工学)	入門情報リテラシー 情報リテラシー バイオ・ケモインフォマティクス インシリコ創薬 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	島山 允 (36) <平成30年4月> 博士(工学)	入門情報リテラシー 情報リテラシー バイオ・ケモインフォマティクス インシリコ創薬 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	講師	堀口(原) 進子 (33) <平成31年4月> 博士(薬学)	薬剤学1 ※ 薬剤学2 ※ 薬剤学実習 製剤学2 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	堀口(原) 進子 (34) <平成31年4月> 博士(薬学)	薬剤学1 ※ 薬剤学2 ※ 薬剤学実習 製剤学2 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	堀口(原) 進子 (35) <平成31年4月> 博士(薬学)	薬剤学1 ※ 薬剤学2 ※ 薬剤学実習 製剤学2 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	堀口(原) 進子 (36) <平成31年4月> 博士(薬学)	薬剤学1 ※ 薬剤学2 ※ 薬剤学実習 製剤学2 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	堀口(原) 進子 (37) <平成31年4月> 博士(薬学)	薬剤学1 ※ 薬剤学2 ※ 薬剤学実習 製剤学2 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	講師	堀江 一郎 (34) <平成31年4月> 博士(薬学)	生物系実習 ※ 免疫学 バイオ医薬品 ※ 総合医療薬学2 ※ 漢方概論 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	堀江 一郎 (35) <平成31年4月> 博士(薬学)	生物系実習 ※ 免疫学 バイオ医薬品 ※ 総合医療薬学2 ※ 漢方概論 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	堀江 一郎 (36) <平成31年4月> 博士(薬学)	生物系実習 ※ 免疫学 バイオ医薬品 ※ 総合医療薬学2 ※ 漢方概論 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	堀江 一郎 (37) <平成31年4月> 博士(薬学)	生物系実習 ※ 免疫学 バイオ医薬品 ※ 総合医療薬学2 ※ 漢方概論 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	堀江 一郎 (38) <平成31年4月> 博士(薬学)	生物系実習 ※ 免疫学 バイオ医薬品 ※ 総合医療薬学2 ※ 漢方概論 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	講師	吉見 陽児 (46) <平成30年4月> 博士(理学)	基礎数学 無機化学 ※ 有機化学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	吉見 陽児 (47) <平成30年4月> 博士(理学)	基礎数学 無機化学 ※ 有機化学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	吉見 陽児 (48) <平成30年4月> 博士(理学)	基礎数学 無機化学 ※ 有機化学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	吉見 陽児 (49) <平成30年4月> 博士(理学)	基礎数学 無機化学 ※ 有機化学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3	専	講師	吉見 陽児 (50) <平成30年4月> 博士(理学)	基礎数学 無機化学 ※ 有機化学実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
専	助教	楠瀬 直喜 (34) <平成31年4月> 博士(薬学)	生薬学実習 薬剤学実習 漢方概論	専	助教	楠瀬 直喜 (35) <平成31年4月> 博士(薬学)	生薬学実習 薬剤学実習 漢方概論	専	助教	楠瀬 直喜 (36) <平成31年4月> 博士(薬学)	生薬学実習 薬剤学実習 漢方概論	専	助教	楠瀬 直喜 (37) <平成31年4月> 博士(薬学)	生薬学実習 薬剤学実習 漢方概論				
専	助教	小野田(杉山) 淳人 (28) <平成32年4月> 修士(薬学)	衛生薬学実習 疾病の予防 ※	専	助教	小野田(杉山) 淳人 (29) <平成32年4月> 博士(薬学)	衛生薬学実習 疾病の予防 ※	専	助教	小野田(杉山) 淳人 (30) <平成32年4月> 博士(薬学)	衛生薬学実習 疾病の予防 ※	専	助教	小野田(杉山) 淳人 (31) <平成32年4月> 博士(薬学)	衛生薬学実習 疾病の予防 ※	専	助教	小野田(杉山) 淳人 (32) <平成32年4月> 博士(薬学)	衛生薬学実習 疾病の予防 ※
												専	助教	高田 誠 (37) <令和元年10月> 博士(薬学)					
												専	助教	無機化学 ※ 分析化学 ※ 物理・分析化学実習 スベクトル解析					
専	助教	告 恭史郎 (30) <平成30年4月> 学士(薬学)	基礎生物学 ※ 機能形態学2 生物系実習 ※	専	助教	告 恭史郎 (31) <平成30年4月> 博士(薬学)	基礎生物学 ※ 機能形態学2 生物系実習 ※	専	助教	告 恭史郎 (32) <平成30年4月> 博士(薬学)	基礎生物学 ※ 機能形態学2 生物系実習 ※	専	助教	告 恭史郎 (33) <平成30年4月> 博士(薬学)	基礎生物学 ※ 機能形態学2 生物系実習 ※	専	助教	告 恭史郎 (34) <平成30年4月> 博士(薬学)	基礎生物学 ※ 機能形態学2 生物系実習 ※



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
実み	教授	山崎 博史 (51) <平成32年4月> 博士(医学)	実み	教授	山崎 博史 (52) <平成32年4月> 博士(医学)	実み	教授	山崎 博史 (54) <平成32年4月> 博士(医学)	実み	教授	山崎 博史 (55) <平成32年4月> 博士(医学)
		薬剤師論 山口県地域医療学1※ 薬学臨床事前実習			薬剤師論 山口県地域医療学1※ 薬学臨床事前実習			薬剤師論 山口県地域医療学1※ 薬学臨床事前実習			薬剤師論 山口県地域医療学1※ 薬学臨床事前実習
実み	講師	廣實 清司 (49) <平成32年4月> 修士(薬学)	実み	講師	廣實 清司 (50) <平成32年4月> 修士(薬学)	実み	講師	廣實 清司 (52) <平成32年4月> 修士(薬学)	実み	講師	廣實 清司 (53) <平成32年4月> 修士(薬学)
		山口県地域医療学1※ 薬学臨床事前実習			山口県地域医療学1※ 薬学臨床事前実習			山口県地域医療学1※ 薬学臨床事前実習			山口県地域医療学1※ 薬学臨床事前実習
実み	講師	山本 晃之 (40) <平成30年4月> 学士(薬学)	実み	講師	山本 晃之 (41) <平成30年4月> 学士(薬学)	実み	講師	山本 晃之 (42) <平成30年4月> 学士(薬学)	実み	講師	山本 晃之 (43) <平成30年4月> 学士(薬学)
		早期体験学習 山口県地域医療学2※ 薬学臨床事前実習 病院薬局実務実習			早期体験学習 山口県地域医療学2※ 薬学臨床事前実習 病院薬局実務実習			早期体験学習 山口県地域医療学2※ 薬学臨床事前実習 病院薬局実務実習			早期体験学習 山口県地域医療学2※ 薬学臨床事前実習 病院薬局実務実習
兼任	教授	福田 廣 (69) <平成30年4月> 文学修士	兼任	教授	福田 廣 (70) <平成30年4月> 文学修士						
		心理学			心理学						
兼任	教授	村田 貴信 (60) <平成30年4月> 文学修士	兼任	教授	村田 貴信 (61) <平成30年4月> 文学修士			村田 貴信 (62) <平成30年4月> 文学修士	兼任	教授	村田 貴信 (63) <平成30年4月> 文学修士
		ドイツ語1 ドイツ語2 哲学 論理学 社会学			ドイツ語1 ドイツ語2 哲学 論理学 社会学			ドイツ語1 ドイツ語2 哲学 論理学 社会学			ドイツ語1 ドイツ語2 哲学 論理学 社会学
兼任	准教授	池田 容子 (42) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	准教授	池田 容子 (43) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	准教授	池田 容子 (44) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	准教授	池田 容子 (45) <平成30年4月> 修士(文学)
		Freshman English Integrated Skills in English A Integrated Skills in English B Integrated Skills in English C			Freshman English Integrated Skills in English A Integrated Skills in English B Integrated Skills in English C			Freshman English Integrated Skills in English A Integrated Skills in English B Integrated Skills in English C			Freshman English Integrated Skills in English A Integrated Skills in English B Integrated Skills in English C
						兼任	准教授	福田 みのり (44) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	福田 みのり (45) <平成31年4月> 修士(教育学)
								心理学			心理学
兼任	教授	澤 喜司郎 (65) <平成30年4月> 経済学修士	兼任	教授	澤 喜司郎 (66) <平成30年4月> 経済学修士						
		経済学 国際事情			経済学 国際事情						
						兼任	教授	塚田 広人 (66) <平成31年4月> PhD, Sociology(デンマーク)	兼任	教授	塚田 広人 (67) <平成31年4月> PhD, Sociology(デンマーク)
								経済学 国際事情			経済学 国際事情
兼任	教授	福田 達也 (40) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	教授	福田 達也 (41) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	教授	福田 達也 (42) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	教授	福田 達也 (43) <平成30年4月> 博士(学術)
		法学			法学			法学			法学
兼任	講師	小島 周二 (68) <平成32年4月> 薬学博士	兼任	講師	小島 周二 (69) <平成32年4月> 薬学博士	兼任	講師	小島 周二 (70) <平成32年4月> 薬学博士	兼任	講師	小島 周二 (71) <平成32年4月> 薬学博士
		放射医科学 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3			放射医科学 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3			放射医科学 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3			放射医科学 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3
兼任	講師	西村 亙 (70) <平成30年4月> 法学修士	兼任	講師	西村 亙 (71) <平成30年4月> 法学修士	兼任	講師	西村 亙 (72) <平成30年4月> 法学修士	兼任	講師	西村 亙 (73) <平成30年4月> 法学修士
		リーダーシップ論 ※			リーダーシップ論 ※			リーダーシップ論 ※			リーダーシップ論 ※
兼任	講師	藤田 剛二 (61) <平成30年4月> Master of Science in Information Systems (英米)	兼任	講師	藤田 剛二 (62) <平成30年4月> Master of Science in Information Systems (英米)	兼任	講師	藤田 剛二 (63) <平成30年4月> Master of Science in Information Systems (英米)	兼任	講師	藤田 剛二 (64) <平成30年4月> Master of Science in Information Systems (英米)
		リーダーシップ論 ※			リーダーシップ論 ※			リーダーシップ論 ※			リーダーシップ論 ※
									兼任	講師	藤田 種子 (57) <令和3年4月> 学士(心理学)
											リーダーシップ論 ※



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	堀北 哲也 (57) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	堀北 哲也 (58) <平成30年4月> 博士(獣医学)						
		ヒューマンコミュニケーションI 演習 ※			ヒューマンコミュニケーションI 演習 ※						
兼任	講師	宮本 嘉典 (44) <平成30年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	宮本 嘉典 (45) <平成30年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	宮本 嘉典 (46) <平成30年4月> 学士(経済学)			
		リーダーシップ論 ※			リーダーシップ論 ※			リーダーシップ論 ※			
									兼任	講師	岩尾 亜和 (46) <令和2年4月> 学士(商船学)
											リーダーシップ論 ※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は脱離届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年7月池北雅彦教授就任。平成30年6月AC教員審査済み。
- ・山本武範教授就任辞退により、池北雅彦教授に変更。
- ・中村心一講師辞任。後任の専任教員採用候補者及び後任の授業科目担当者（科目内容の変更）を平成31年3月AC教員審査に申請中。

【令和元年度】

- ・福田廣教授(兼担)辞任により、福田みのり准教授(兼担)に変更。
- ・澤喜司郎教授(兼任)辞任により、塚田広人教授(兼任)に変更。
- ・堀北哲也講師(兼任)辞任により、「ヒューマンコミュニケーション1 演習」(オムニバス)の担当範囲(共同)の担当教員数を変更。

【令和2年度】

- ・令和元年10月高田誠助教就任。令和元年6月AC教員審査済み。中村心一講師の後任。
- ・令和2年4月野田泰裕助教就任。令和元年12月AC教員審査済み。
- ・清水孝洋准教授就任辞退により、恵谷誠司教授、野田泰裕助教に変更。令和元年12月AC教員審査済み。
- ・広井賢子教授令和2年12月末辞任。後任については選考中。
- ・楠瀬直喜助教令和3年3月末辞任。後任については選考中。
- ・宮本嘉典講師(兼任)辞任により、岩尾至和講師(兼任)に変更。

【令和3年度】

- ・令和2年7月宮本教授就任。令和2年3月AC教員審査済み。
- ・令和3年4月西本教授就任。令和2年12月AC教員審査済み。
- ・岩尾至和講師(兼任)辞任により、藤田雅子講師(兼任)に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
34	17
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
25	9	13	7	54	4	24	8	12	8	52	2
(14)	(4)	(9)	(3)	(30)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
24	8	12	8	52	2	25	8	12	9	54	4
[ ]	[Δ1]	[Δ1]	[ 2 ]	[ ]	[ 2 ]	[ ]	[Δ1]	[Δ1]	[ 2 ]	[ ]	[ ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	6	8
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{52}{54} = \boxed{96.29} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{6}{52} = \boxed{11.53} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{2}{4} = \boxed{50} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	山本 武範	H30.4	必修	基礎物理化学	①	H30.4一身上の都合により就任辞退（30）			
				必修	物理化学	①				
				必修	物理・分析科学実習	①				
				必修	薬学基礎総論	①				
				必修	卒業研究1	①				
				必修	卒業研究3	①				
2	准教授	清水 孝洋	R2.4	必修	薬理学実習	①	R2.4一身上の都合により就任辞退（2）			
				必修	総合医療薬学1	①				
				必修	総合医療薬学2	①				
				必修	総合医療薬学3	①				
				必修	総合医療薬学4	①				
				必修	総合医療薬学5	①				
				必修	総合医療薬学7	①				
				必修	薬学臨床事前実習	①				
				必修	卒業研究1	①				
				必修	卒業研究2	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	18	科目	必修	18	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	18	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	講師	中村 心一	H30.10	必修	無機化学	①	H30.10.31付け一身上の都合により辞任（元）			
				必修	分析科学	①				
				必修	物理・分析科学実習	①				
				必修	スペクトル解析	①				
1	教授	広井（藤原）賀子	R2.12	必修	基礎物理化学	①	R2.12.31付け一身上の都合により辞任（2）			
				必修	無機化学	①				
				必修	生命物理化学	①				
				必修	物理・分析科学実習	①				
				選択	バイオ・ケモインフォマティクス	①				
				必修	卒業研究1	①				
				必修	卒業研究2	①				
1	助教	楠瀬 直喜	R3.3	必修	生薬学実習	①	R3.3.31付け一身上の都合により辞任（2）			
				必修	薬剤学実習	①				
				必修	漢方概論	①				
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
3	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	15	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
5	人	必修	32 科目	必修	32 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	33 科目	計	33 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{5}{54} = 9.25\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)-⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

(注)・(3)-①、(3)-②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3)-⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計						後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

山本武範教授(就任辞退)の後任として、池北雅彦教授が平成30年7月就任(AC教員審査済)  
 清水孝洋准教授(就任辞退)の後任として、野田泰裕助教が令和2年4月就任(AC教員審査済)  
 中村心一講師(辞任)の後任として高田誠助教が令和元年10月就任(AC教員審査済)  
 学生に対してはガイダンス及び授業時間割等により周知する。

(注)・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <薬学部 薬学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD委員会を設置し、FD研修の企画・実施や教授方法等の改善策の検討を行った。（FD委員会規程を末尾に添付）</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回FD委員会（R2.9.29開催、7名中7名出席）</li> <li>・第2回FD委員会（R2.11.20開催、7名中7名出席）</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教授方法、教育内容、手段・環境等の改善策</li> <li>・教職員研修の実施計画</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業（授業参観を行い、授業終了後に授業担当者と参観者で意見交換を行った）※令和2年度は実施せず</li> <li>・授業観察（新規採用教員に対してFD委員が授業観察を行い、教授方法等を確認する）※令和2年度は実施せず</li> <li>・FD研修会開催</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD研修会 3回実施</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD研修会「現代社会における実践的経営実務について」（R2.10.13開催、29参加）</li> <li>・FD研修会「THE 世界大学ランキングの活動」（R2.11.5 57名参加）</li> <li>・FD研修会「これからの産学連携連研究開発植物化学の原点に学ぶエッセンシャルオイル、テンペルの無限の可能性」（R2.12.10 86名参加）</li> </ul> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全授業科目について、前期・後期終了時に実施する。</li> </ul> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート集計後、授業担当教員に学内ポータルサイトにて回答結果を通知した。</li> <li>・学内ポータルサイトに集計結果を掲載し、学生に周知した。</li> </ul>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし



#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成30年度開設以降、設置の趣旨等を記載した書類に基づき、取り組みを行っている。薬学部の自己点検・評価の実施体制を確立するために、学長を委員長とした自己点検・評価委員会を4月1日付で改組し委員の委嘱を行った。また平成29年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評価を受審した際の自己点検評価書及び評価報告書、並びに地方独立行政法人法に基づき毎年度作成している業務実績報告書及び設立団体の法人評価委員会による業務実績評価書を大学ホームページに掲載し公表するなど計画どおりに進行している。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・平成29年度機関別認証評価受審時の自己点検評価書を平成30年4月に公表している。

###### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

##### ③ 認証評価を受ける計画

平成29年度（2017年度）に公益財団法人日本高等教育評価機構が実施する大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準を満たしている旨の認定を受けた。次回は令和6年度（2024年度）に大学教育質保証・評価センターの評価を受けるべく、学内で自己点検評価を実施中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。